
環境活動レポート

2017年度

(対象期間 2017年6月～2018年5月)



発行日 2018年 6月 23日

改訂日 2018年 9月 20日

エイコー電機株式会社

1. 環境方針

1. 基本理念

エイコー電機株式会社は、当社の事業活動が地域ならびに地球環境に与える影響を常に考慮し、環境活動システムの継続的な活動および改善を積極的に行い、持続可能な社会の構築に貢献します。

2. 活動指針

1) 具体的に次のことに取り組みます。

- 二酸化炭素排出量の削減
 - 電気使用量の削減
 - 化石燃料使用量の削減
- 廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再生利用）を推進
(廃棄物排出量の削減)
- 総排水量の削減
- 事務用品等のグリーン購入の推進
- 化学物資使用量の把握および適正管理
- 環境配慮型商品の開発・拡販の促進

2) 環境に関する法律、規則、協定を遵守いたします。

3) 従業員に対し、環境教育を実施し、環境保全に関する意識の向上を図ります。

4) 地域社会と積極的にコミュニケーションを図り、地域に密着した事業活動を行い、地域の環境保全に努めます。

5) この環境方針を全従業員に周知徹底させるとともに、一般の方にも公表します。

2010年 9月 1日制定

2015年 7月31日改訂

エイコー電機株式会社

代表取締役 浅田 耕三

2. 組織の概要

事業所および代表者

エイコー電機株式会社

代表取締役 浅田 耕三

所在地

〒671-2102

兵庫県姫路市夢前町新庄155-3

<http://www.eiko-electric.co.jp/>

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

生産管理部 前川 義明

品質保証部 山田 英里

TEL 079-336-2077

FAX 079-336-3157

e-mail y.maekawa@eiko-electric.co.jp

事業内容

電源装置組立、ハーネス・ケーブル製作、制御装置設計・製作、
プリント基板設計・製作

事業規模

資本金 1000万円

売上高 548百万円（2017年度）

面積 敷地 4950 m² 工場延べ面積 1600 m²

従業員数 46名

設立 1976年 6月

活動規模	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
売上高	百万円	316	419	469	548
従業員	人	45	45	47	46
床面積	m ²	1600	1600	1600	1600

事業年度：6月～翌年5月

□認証・登録範囲

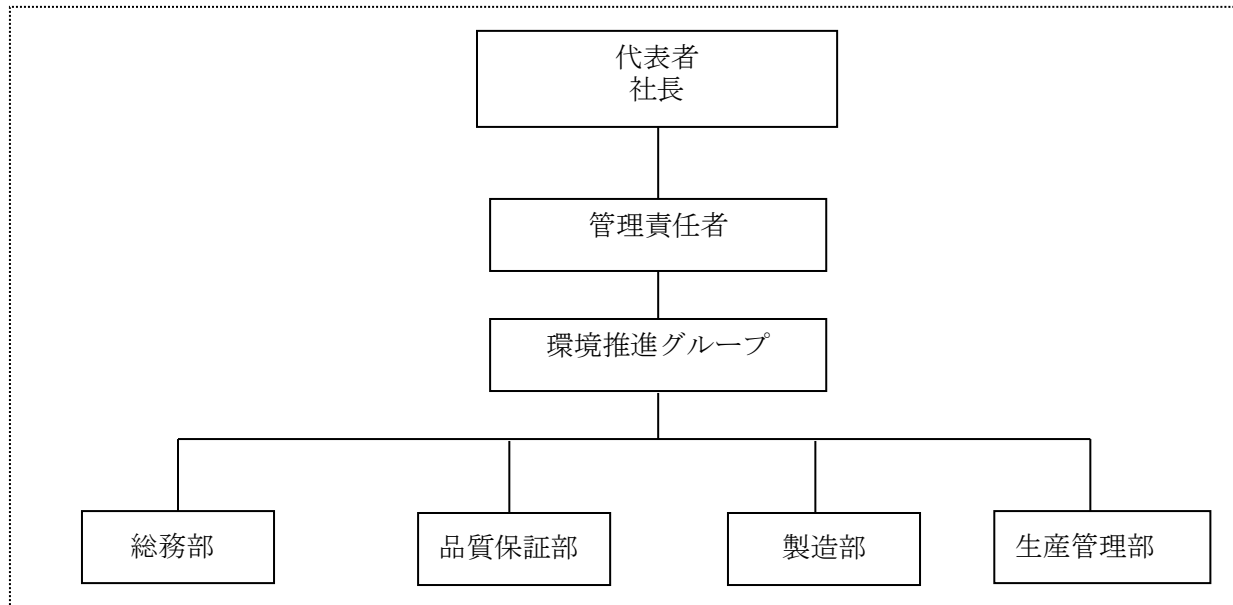
登録組織名：エイコー電機株式会社

対象事業所：本社

対象外：なし

活動：電源装置組立、ハーネス・ケーブル製作、制御装置設計・製作
プリント基板設計・製作

エイコー電機株式会社 環境経営システム実施体制図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境活動計画表の承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境目標の設定 ・「環境関連法規制等リスト」の取りまとめ、および自己チェック ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの作成 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・外部からの苦情、要望の受付
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門に従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書の承認 ・緊急事態への対応のための手順書の承認 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
環境推進 G	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者・管理責任者・事務局・各部門代表者で構成。管理責任者が召集する ・環境目標の設定、環境活動計画表の策定および進捗状況について確認、記録する ・緊急事態の対応策の決定 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・緊急事態への対応のための手順書作成、訓練・記録
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全への意識向上 ・環境活動の取組への積極的な参加

3. 環境目標とその実績

(1) 環境負荷項目

	2011年基準年度	2015年度	2016年度	2017年度
	実績	実績	実績	実績
1) 電力 kWh	83,877	91,834	104,310	102,673
2) ガソリン L	2,451	2,400	2,584	2,562
2) 灯油 L	3,275	3,559	3,248	4,678
二酸化炭素 kg-CO ₂	51,596	55,768	61,033	63,808
総排水量 m ³	370	442	446	509
廃棄物排出量 一廃 t	3.32	4.13	4.06	7.16
産廃 t	4.24	3.87	3.75	4.07

2014年度以降の環境目標 (2014年度より基準年度2007年→2011年)

環境目標	単位	実績 基準年度	2017年度 目標	2018年度 目標	2019年度 目標	2020年度 目標
二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO ₂	51,596	49,632 11年度対比 ▲ 4.0%	49,016 11年度対比 ▲ 5.0%	48,500 11年度対比 ▲ 6.0%	47,984 11年度対比 ▲ 7.0%
●電力	kWh	83,877	80,521	79,683	78,844	78,005
●灯油	L	3,275	3,144	3,111	3,079	3,045
●ガソリン	L	2,451	2,353	2,328	2,303	2,279
●化学物質の適正管理	—	実績不明	化学物質使用量の把握と管理	化学物質使用量の把握と管理	化学物質使用量の把握と管理	化学物質使用量の把握と管理
●グリーン購入 エコ品目数の割合	%	実績不明	全購入品の 80%以上	全購入品の 85%以上	全購入品の 90%以上	全購入品の 95%以上
廃棄物リサイクル率 向上						
●一廃リサイクル率	%	96	96	96	96	96
総排出量	t	3.32				
再資源化量	t	3.19				
●産廃リサイクル率	%	77	77	77	77	77
総排出量	t	4.24				
再資源化量	t	3.28				
総排水量	m ³	370	370	370	370	370

*二酸化炭素排出係数 0.493kg-CO₂/kWh (関西電力㈱2011年度)

*廃棄物は、リサイクル率の向上を取り組み項目とし、基準年度維持を目標とする。

4. 環境活動計画の内容

1) 数値目標を達成するための取組

(1) 二酸化炭素排出量の削減

① 電気使用量の削減

- ・ エアコンの温度設定を決め実行する。(夏季：28℃ 冬季：20℃)
- ・ 電力のデマンド管理（監視モニターの設置）
- ・ 夏季、工場の屋根冷却用にスプリンクラーで散水（地下水使用）
- ・ 長時間使用しない設備の電源を切る。

② ガソリン使用量の削減

- ・ 駐停車の際のアイドリングストップ、燃費管理
- ・ 定期便の集約
- ・ 工場近辺の一般道の徐行運転
- ・ 法定速度の遵守

③ 灯油使用量の削減

- ・ 室内の適正な温度管理
- ・ 暖房器具の点検、更新

(2) 廃棄物排出量の削減

① 一般廃棄物

- ・ コピー用紙の裏面使用、**タブレット使用によるペーパーレス化の推進**
- ・ 分別による古紙のリサイクル化

② 産業廃棄物

- ・ 分別による廃棄物の種類と排出量の把握、リサイクル率向上への活動
- ・ 最終処分量の削減（混合廃棄物の細分別化推進）

(3) 排水量の削減

- ・ 漏水の定期点検
- ・ 啓発ポスターの掲示

(4) グリーン購入

- ・ 事務用品のグリーン用品の推進
- ・ リサイクル品の購入推進

(5) 化学物質の管理

- ・ 使用量の把握・適正な管理・保管

(6) **多能工化の推進による工数削減**（目標；誰もが何でもできる）

2) その他の取組

- ・ **スキルアップのためのセミナーや講習会への参加**
- ・ 定期的な運用による運送便の減便（出荷日の調整で、発送荷物を集約する。）
- ・ 工場内外の定期的美化活動

5 取組の結果と評価及び今後の方向

(1) 2017年度における取組の結果と評価及び今後の方向

環境目標	目標・実績・達成率	評価及び今後の取組内容
二酸化炭素排出量 ○電力量 kWh ○灯油 L ○ガソリン L	目標 49,632(kg-CO ₂) 実績 63,808(kg-CO ₂) 達成率 78% 目標 80,521 → 実績 102,673 達成率 78.4% 目標 3,144 → 実績 4,678 達成率 67% 目標 2,353 → 実績 2,562 達成率 95.7%	目標未達(本年度) ⇒ 排出量低減(次年度) 昨年度に続いて全体を通じて生産活動が活発な1年でした。売上前年度比130%の伸びの中でのこの実績については、電力のデマンドの管理であったり、多能工化による工数削減活動による効果と判断します。灯油使用量については、冬季の冷え込みが大きく影響しました。今年度も引き続き多能化を推進し、工数削減による二酸化炭素排出量の低減を目指します。
廃棄物 ○一廃リサイクル率向上 ○産廃リサイクル率向上	目標 96% → 実績 96.2% 達成率 100.2% 目標 77% → 実績 48% 達成率 62%	目標達成 ⇒ リサイクル率向上 リサイクル率の向上を目標に活動を行いました。産廃の目標未達については、借用していた外部倉庫の返却に伴う整理のため、ゴミ排出により一時的に増大した影響が出ました。次年度は計画上大きな動きは無いため、通常の活動となりますので達成率は向上します。
総排水量(年間)	目標 370.0 m ³ 実績 509 m ³ 達成率 72.7%	目標未達 ⇒ 現状維持 使用の多くは、夏場の屋上散水とトイレになります。突発的な増大とにならないよう監視を継続します。
化学物質の適正管理	化学物質使用量の把握と管理適正に管理しています。	PRTR 法対象の化学物質(トルエン・三酸化アンチモン)について、継続して適正な管理・保管に努めます。 (トルエン 297mL、三酸化アンチモン 22mL)
グリーン購入の推進	事務用品について、グリーン購入の実施。 目標 80% 実績 71% 達成率 89%	新規購入時が切替え時なので、引き続きエコマーク品やリサイクルマーク品を最優先で購入します。 (総事務用品 59品目、グリーン商品 42品目)
その他の取組 ・工場内外の定期的美化活動 ・従業員教育の計画的な実施	・工場内外の美化活動 年2回(夏季・冬季実施) ・従業員への啓発	・照明に関して、蛍光灯からLEDへの変換完了 ・朝礼等を通じて計画や活動状況についても説明、改善の機会を設けています。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

① 適用される主な環境関連法規

法令・条例・規制	要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	委託契約の締結	遵守
	廃棄物保管基準の順守	遵守
	マニフェストの管理、報告	遵守
	委託業者の許可証の写しを保管	遵守
労働安全衛生法 (有機溶剤中毒予防規則) (鉛中毒予防規則)	作業主任者の選任	遵守
	注意事項や区分の表示、作業教育	遵守
	排気装置の設置	遵守
	作業環境測定の実施	遵守
消防法	防火管理者の任命	遵守
	消防用設備等設置	遵守
PRTR 法	化学物質の管理	遵守
フロン排出抑制法	機器の簡易点検、記録	遵守
自動車リサイクル法	社用車の廃棄	実績なし
家電リサイクル法	家電の廃棄	実績なし

② 違反、訴訟等

環境関連法規等の遵守状況を評価した結果、違反等はありませんでした。

関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

近隣からの苦情や訴訟等もありませんでした。

●社長の評価・見直し

見直し、指示事項	<p>本年度も生産活動が旺盛でしたが、反面環境への影響が心配されました。結果だけを取らえれば目標未達でしたが、内容は評価できます。</p> <p>なかでも多能工化推進による工数削減は、環境活動にも大きく貢献できたと確信しています。</p> <p>次年度の活動に向けた新たな目標には苦慮しますが、多能工化は環境負荷低減にも有効なので引き続き推進してください。</p> <p>本年度倉庫新設に伴い、駐車場の整備も実施予定です。(アスファルト化)</p> <p>毎年駐車場の清掃が大変でしたが、その時間が削減されかつ近隣へのゴミ(枯れ葉)飛散の心配もなくなり安心できます。</p>			
見直しの必要性	環境方針	環境目標	環境活動計画	環境経営システム
	□要 ■否	■要 □否	□要 ■否	□要 ■否

2018年 6月 6日

代表者 浅田 耕三